デザインシミュレータガイド

DESIGN SIMULATOR GUIDE





塗り足しや余白が必要な印刷物には、ガイド線が表示されます。



塗り足し

仕上がり線まである背景やパターンは緑の塗り足し線まで伸ばしてください。 仕上がりサイズの赤い線ぴったりで作ってしまうと、カットがズレた時に下地が見えて しまう場合があります。

この伸ばした部分を「塗り足し」といい、印刷物をきれいに仕上げるために必要になり ます。

余白

大切な情報や、切れると困るデザインは青の線より内側に収めて配置して下さい。 カットズレなどによりカットラインのギリギリに配置されている文字やイラストは、わ ずかにズレが生じただけで切れてしまう可能性があります。

巻き込み部分

巻き込み部分は缶バッジに巻き込まれる範囲を示しています。文字などの情報を入れることはできません。

巻き込まれたくない情報やデザインを配置するときは、缶バッジサイズを示す緑の線の内側へ配置してください。塗り足しと同様に、仕上がり線まである背景やパターンは 巻き込み部分の線まで伸ばしてください。



オブジェクトツール

追加する

ABC	テキスト	横書きまたは縦書きのテキストの追加	色
	四角形	四角形のオブジェクトを追加	各ツールのウィンドウのカラースウォッ 単色の場合
0	円形	円形のオブジェクトを追加	• ••••••
\Diamond	多角形	多角形のオブジェクト追加(頂点数変更可)	グラデーションの場合
公	星形	星形のオブジェクト追加(頂点数変更可)	 ※左右のカラースウォッチをそれぞれ指定 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	直線	直線を追加	
عل	フリーハンド	ドラッグによる線の追加	(位置や+
00 0X	コード	バーコードまたはQRコードを追加	直接オブジェクトを選択して移動するか
0	シンプル	単色のイラスト素材を追加	やサイズの変更ができます。縦横比を固 大縮小が可能です。
<u>e</u>	スタンプ	複数色を使用したイラスト素材を追加	位置 mm X 50 - I + Y 50 - I +
	画像を挿入	手持ちの画像をアップロード(JPGまたはPNG形式)	角度 度 100
※コード・スタンプ・アップロードは単色印刷非対応です。			サイズ mm 縦横比固定 W 50 - + H 50 - +

オブジェクトの設定の変更



テキスト

フォント

※単色印刷の場合、一部機能に制限があります。

日本語と英語で7種類のカテゴリがあります。その他の言語や絵文字は非対応です。

組み方向と揃え 日本語 横書き 縦書き あ あア あア おア Ē $[\Pi]$ ıllı ≡ デザイン書体 明朝体 ゴシック体 筆書体 左揃え 中央揃え 中央揃え 下揃え 右揃え 上揃え 英語 間隔 字間 行間 Aa Ĥa Aa The quick brown TEXT fox jumps over the サンセリフ体 スクリプト書体 セリフ体 lazy dog. 文字同士の間隔を調整できます 行の間隔を調整できます 文字の装飾 塗り+線+文字背景 塗り+線 線のみ 塗り+文字背景 線+文字背景 文字の色だけでなく、線や文字背景の設定次第 でさまざまな表現ができます。

Að

AB

段落設定

テキストの組み方向や間隔を設定できます。

画像を挿入[フルカラー]

画像アップロード対応ファイル

画像はPNGとJPEGファイルに対応していますが、アップロード後はツールの都合上、 編集時はRGBカラーのPNGに変換いたします。カラーモードがCMYKで設定されてい る画像は色味が変わる恐れがあるのでご注意ください。



背景除去機能

アップロードした画像の背景を自動で除去し、被写体以外を透過させます。 画像アップロード後に表示される、「背景を除去」を選択してください。



※背景除去後の調整はできませんのであらかじめご了承ください。
ご自身で透過画像を作成する場合は、以下のページを参考にしてください。

透過画像のつくりかた

https://note.com/digitaprint/n/n690d106ddce9

切り抜き・透過の確認

手持ちの透過画像や、背景除去機能を使用した画像を使用する際は必ず切り抜かれている箇所が正しいが必ずご確認ください。

切り抜きが甘い場合、不要なところが印刷されてしまったり、印刷されない場合があり ます。プレビューの背景色を変更し、よくご確認ください。



不要な部分がうっすら残っている



画像を使用する際、小さなノイズや透過されていない箇所が残っている場合がありま す。入稿されたデータはそのまま印刷するため、ノイズ確認プレビューでよく確認後、 データを配置してください。



印刷箇所の周りに赤いフチを表示し、ノイズや透過されていない箇所を確認できます

画像を挿入[ホワイトインク]

ホワイトインクとは

白色のインクをカラーインクの下になるように印刷します。 注文時にホワイトインクを選択または追加していただくことで利用できます。 デザインシミュレータでは、デザインの不透明度に応じてホワイトインクのデータを自 動で作成します。



ホワイトインクのプリントについて

不透明度で調整されたカラーは、ホワイトインクが濃く出力されるため、切り抜きの精 度が低いと画面上のプレビューと実際の仕上がりに差が生じます。 グラデーションやぼかし、ドロップシャドウなど効果が含まれたオブジェクト、また切り 抜きの精度が低い透過画像にご注意ください。



画像の透過について

ホワイトインクを追加された場合、編集画面上で白色または着色された箇所にはホワ イトインクが印刷されます。

背景が切り抜かれていない画像や、着色されたオブジェクトを全体に配置すると素材 が露出せず、意図しない仕上がりになることがあります。プレビューでよく仕上がりを ご確認ください。

不要な背景を取り除きたい場合は、画像アップロード時に背景除去機能をご利用くだ さい。

背景が着色されている そのまま白く印刷される・・・・



背景が透過されている



画像を挿入[シルクスクリーンプリント]

画像アップロード対応ファイル

画像はフルカラーのPNGとJPEGファイルに対応していますが、アップロード後は印刷の都合上黒1色のデータに変換いたします。シルクスクリーンプリントでは写真やイラストなど精細な画像はプリントの再現が難しいため使用をお控えください。ロゴやシンボルマークなど単純な画像を推奨しています。



画像解像度

解像度が不足していると、左側の画像のようにピクセルが目立ち、輪郭がギザギザした 仕上がりになってしまいます。なるべく大きな画像をご用意ください。画像の解像度は 600dpi以上を推奨しています。



2 階調化機能

2階調化はアップロードした画像を黒1色のデータに変換する機能です。 画像アップロード後に表示される、「しきい値」で印刷する部分を調整してください。 階調を反転することで黒と透過を反転することができます。





データ変換の際に、小さなノイズが残っている場合があります。入稿されたデータはそのまま印刷するため、ノイズ確認プレビューでよく確認後、データを配置してください。



印刷箇所の周りに赤いフチを表示し、ノイズが発見しやすくなります・・・・・・・



||3 整列

選択したオブジェクトを整列させます。 オブジェクト単体で選択した場合は、アートボード基準。複数オブジェクトを選択した 場合は選択範囲を基準に整列します。 上下左右の均等揃えはオブジェクトを複数選択した場合のみ使用できます。



▶☑反転



┏ 複製

選択したオブジェクトを複製します。

色違いの素材や設定を引き継いだテキストを追加したい時に便利な機能です。



⊗ レイヤー順

選択したオブジェクトのレイヤーの重なり順を変更できます。 順序については、編集ツールだけでなくレイヤーウィンドウからも変更できます。







表示切替

複数箇所の印刷をご注文の場合は、メニューの表示切替から編集画面 を切り替えてください。



··· グリッドガイド

グリッド状のガイド線が表示できます。グリッドの間隔はmm単位で調 整できます。位置やサイズの目安にご利用ください。



保存機能

DESIGN SIMULATOR GUIDE



作成したデータを画像としてダウン ロードできます。 編集画面またはプレビュー画面



データを保存※会員限定



再編集可能なデータをサーバー上に 保存できます。 ※必ずログインした状態でデータを作成して ください

データの保存場所

デザインシミュレータTOP、各注文ページの「保 存データを参照」またはマイページの「保存デー タ」から保存したデータの閲覧や編集ができま す。

※非ログイン状態だとボタンが表示されないことがあります。



https://www.digitaprint.jp/simulator.php



https://www.digitaprint.jp/mypage/index.php